

みうらトーク&トーク 平成22年度第3回

日 時 平成22年7月26日(月)

19時30分～20時30分

参加者 三浦商工会議所青年部

11人

テーマ 「三浦の地域資源について」(特に農業・漁業について)



三浦商工会議所青年部事業の「三浦経営塾」と兼ねる形で開催した(変則的に司会進行は市民側が行った)。

はじめに青年部会長の挨拶の後、吉田市長が講話をする形でトーク&トークを開始した。

<意見交換>

市長

まず、私から地域資源ということで話をさせていただきます。今まで(三浦)経営塾というのは色々な人を呼んでいらっしゃると思います。三浦市の場合には、今私が政治家として市民の皆さんから選んでいただいて市長の職をさせていただいておりますが、やはり自分ひとりの思いで全てが叶うわけではありません。市の職員をはじめ、議会や関係する方々から助けていただいて初めて成り立つものです。自分の思いというものは理想像として掲げたりしますが、それに向けてどうしていくかということは、意思の疎通が図れないと、違った目標に進むわけにはいかないので、ひとつの将来像や、大きなテーマについて、市役所全体の組織として同じような目標を持っていくということを職員自身が理解しながら一緒にやっていくような形にしないとイケません。皆さんも企業経営をしていらっしゃるのお分かりになるかと思いますが、オーナーが白だと思ったらグレーでも黒でも白と言わせるのは間違いがあると思いますので、職員からきちんと意見を聞きながらやらせていただいています。

今三浦の持っている地域資源というのは、三浦市全体であるという認識です。例えば三崎の港、三方海に囲まれた約50キロの海岸線、緑の大地、農地になっている畑、山もそうですし、駅近郊の都市型の住宅地も、三浦にとっては全てが地域資源として活かせるものだと思います。

とりわけ産業構造として三浦市で持っている特異性、優位性は、農業、漁業、水

産に関連した様々な業種、観光、これらが基幹産業になります。そのうち地域「資源」として捉えるものは農業であり漁業で、三浦を外に売り出すための大きな資源として活用する必要があり、今経済振興部を中心に、外に向けた様々なアピールをさせていただいています。

そのような資源をいかに活用するか。たとえば農業・漁業は、いわゆるハード、施設としての資源、他市には無い漁港の施設とか、農業施設、畑、これらは施設としての資源でもあり、景観としても特異のある、有益性を持った資源だと思っています。その資源、一次産業の基幹産業として三浦を成り立たせている産業の全てを外の皆さん・お越しいただく方に提供する。食、回遊ルートを作る、海水浴もそうですし、お越しいただく方に喜んでいただくような地域資源の活用が三浦にとって強い武器になっていると思っています。今はマグロに関連した食の町というのを大きく売り出していますが、まぐろラーメンや、古くからまぐろ倶楽部の皆さんがマグロの料理を全面に出して観光客を呼んでいる。そういった古くからの生業をきちんと継承・発展させていくことが地域資源を活用していく道だということで、積極的に進めさせていただいています。

市民の方は役所がやって、役所に任せればいいという感覚になってしまいがちですが、そうではなくて、地域の皆さんも一緒にどう町を活性化していくかと考えていただいて、一緒に動いていただくこともお願いする。つまり市民協働の視点です。そして、市民の皆さんと一緒に、三浦をボトムアップさせるような動きができたらと思い、そのような取り組みもやらせていただいています。今回の青年部さんもそうですが、横浜 FC など、多くのところと提携をしたり、みうら映画舎もそうですが、大きな武器になっていますよね。マグロラーメンが B1 目指して頑張っているというのも、まさしく市民の皆さんの発案によるまちおこしであり、町のイメージアップを図る大きなツールになっています。

今三浦市に対する外からの評価は、自分なりの判断かもしれませんが、「色々なものを売り出して元気がある」という捉え方をしてくれていると思っています。結果的に三浦に多く住んでいただいて、税をきちんと納めていただいて、三浦の財政基盤を安定させて、経済の活性化に結びつけるというのが大目標です。そういった目標に向けて、多くの方に税を納めていただく、消費をしていただく、そういったことが町の財政力の強化にも繋がりますので、大きな目標に向けて取り組んでいるところです。

皆さんは実際の景気を敏感に肌で感じています。景気対策でも即効性のあるものが必要なので、生の声をお聞きして、様々な施策を展開していければ良いのですが、ご承知のように三浦市は財政的には非常に厳しい状況が続いています。二町谷の埋立地の関係で大きな負債をいったん整理し、新しいステージへ向かうための準備をしています。いったんは大きな借金を背負うこととなりますが、決して

イメージダウンということではなく、今後三崎港を中心とした三崎の下町、三崎のマグロ経済を発展させていくための大きな手段として、ひとつの選択をしたということです。議会が終わり次第、市民の皆さんに公表する手段も検討していきますが、そのような取り組みをさせていただいています。

(まとめると)地域資源として捉えるものは、全て三浦は地域資源であるということ。とりわけ、農業・漁業、これらを中心とした生業が大きな地域資源として外へアピールするツールになっている、というのが現実です。

一概に町をこうしたらいいとかいう意見はたくさんあると思いますが、実際にできるもの・できないものがあるし、非常に参考になる意見もありますので、ぜひ色んなご意見をいただいて、政策に反映できればと思っています。会議所青年部の皆さんは、そういった意味で非常に重要な情報源ですので、何なりと言って頂きたいと思っています。

市民 今、三浦の地域資源は何かということで、色んなところに「地域資源をどう考えていますか」と聞きまわろうという企画で今年度の経営塾を進めようとしています。第 1 回目は商工会議所をお願いして話を聞いて、2 回目はやはり行政のトップにお聞きしたいということで市長にお越し願いました。その他、東部漁港さんも考えていますが、話を聞いたら面白いんじゃないかという所はございますか。

市長 行政センターや横須賀土木の人達は広域的に管轄しているので、外から三浦をどう見るかという意見をしてもらうこともいいかもしれません。中の情報を発信しようとして一生懸命やっている中で、外から見てどうかということが大事じゃないか。外から見た人は無責任な発言をするものです。事情を分かっていないので。見ただけで、例えば「道が傷んでいる」とか「看板が無い」ということを言うことがあります。でもその中に大事な事も結構あるんです。以前に「城ヶ島へ行く看板がない」と言われたことがあります。言われてみればそうでした。他に例えば三浦市に入ってきた時に、どこの町も「welcome」という看板がありますよね。

市民 三浦海岸の小さいのしか無いですよ。

市長 三浦市も道路にポールを出して「ようこそ三浦へ」「またお越しく下さい」という看板を作る計画を立て、看板を作って上宮田の児童会館の壁に貼ってあるんですが、全く目立たない。長井の方から来ると潮風アリーナの駐車場のところにあります。ご存知ですか。全く目立たない。あれは気になりますね。ちょっと中途半端なところがあります。

- 市民 大きさも半端で、高さも半端ですね。
- 市民 だいたい市境には「ようこそ三浦へ」とか「 のまち、 へ」というものがありますからね。
- 市長 そういうのをツールとして作りたいと思っているのですが、財源など色々問題点があり、一度に出来ない状況です。外からの意見というのは非常に無責任な意見ではあっても、参考になる意見が結構あります。
経済振興部で営業開発課が色んなところに行くなかで、なるべくアンケートをもらい、どんな意見が中心だったか調べる取り組みをしています。
どこかの大学生と話すのも良いのではないですか。年上の人ばかりではなくて。
- 市民 明大ですかね。
- 市長 明大でもいいし。元職員が明大で学生に教えているよね。
- 職員 三浦の観光プロモーションに取り組み中です。ちょうどマップ作りとリンクすると思いますね。色んなところを調べたりしているから。
- 市長 細かい作業を学生にやってもらえると良いかもしれない。
- 市民 三浦市を回遊するためのマップを作ろうかという話をしていて、そのマップ作りを公募制にしようかという話もあります。人からもらって、良かったら使い、ダメならはじくという形で。
- 市民 下町・城ヶ島の地図を懸賞金をかけて選考して、1位の方には賞金が出て、その地図を使いますという感じでやろうかと思っています。
- 市長 自分たちは何をやるんですか。
- 市民 宣伝、選考です。あとは印刷して配ったり。
- 市民 それこそ無責任なマップです。私が実行委員長をやっていますが、結構色々と言われるんです。地図があるのに「無い」と。実は目立っていないんです。
じゃあどんなのが良いのか。観光客、余所の人の「こんなのがあったらいいな」

という目で出来たらいいなということです。他力本願ですが、それがもしかしたら今までに無いものが出る可能性があるなど。

市民 実際に回遊する人たちに投げてしまって、自分たちが回りたいマップを作って持ってきてというコンセプトです。私たちが作るお決まりのお店が中心の地図だと面白くないでしょうから、一回全部丸投げにしてみてもどうかということです。

市民 そちらの方は、三浦市が好きで入ってきた方なんです。

市民 3 年位前に東京から引っ越してきました。

市民 小網代の先に住んでいます。

市長 小網代の森の 70 ヘクタールは近郊緑地保全区域に指定されているので、尾瀬みたいになる可能性がありますね。

市民 じゃあ車の出入りも禁止して、遊歩道を作ってという感じですか。ホタルも見られるから夏も良いですね。

市民 いや、夏はハチがいたりするからあまり良くないですね。

市長 あそこも大きな地域資源ですね。

市民 色々思い描いたものを持って移り住んできて、(三浦で)「それほどじゃなかった」とか「これは良かった」という意見はありますか。

市民 畑が多くて、人があまり住んでいないところが私は好きです。小さい半島で三方が海なので島のような感じがする。東京はものすごく暑いから最近は全然行きたくないです。

市民 畑は喜ばれますね。

市長 夏場は休んでいるところが多いですね。

市民 岩堂山の所は何をやっているんですか。

職員 あれは農地造成のために土砂で埋め立てています。

市長 土地改良事業です。

市民 何ができるんですか。

市長 農地です。昔は田んぼから畑に変えるのが一般的でしたが、今は斜面地とか、車が入れないところをきちんと整地して、法に則ってやっています。

市民 それはみんな地主がいるんですか。

市長 地主が合意して、準備組合を作って、ハンコを押して、農協の土地改良対策室というところが事務をしています。その他、畑が3段になっているのを1段にしたほうが効率がいいとか区域が狭いときは農地造成という手法でやります。三浦市にはその要綱があって、先に県が許可を出すのですが、泥だけ埋めたくてそういうことをやる人も中にはいます。農業者が望むことであれば市はOK しないではいけないわけですが。

市民 かかる経費は全部農家の人負担するんですか。

市長 そうです。

職員 建設発生土を受け入れるので、そこである程度お金と一緒に入ってきます。それをうまく利用してやります。

市民 補助金が出てということですか。

職員 そういう場合もあります。建設発生土というのはお金を払って処理してくださいというものです。そうすると建設発生土を受け入れるということはお金も入ってくる。その収入を上手く利用しながら農地を仕上げます。

市民 桜まつりの件ですが、来年あそこが市道になってしまいますよね。

市長 道路になってしまいます。今まではすごく安全で良い場所でしたが、道路が開通するので、それに代替する場所を検討しています。

市民 まだ決まっていないのですか。

市長 決まっています。まちなみ協議会などとも相談していますが、公衆トイレがあるところにするか、もうちょっと三崎口寄りにすると京急の空き地が借りられますが、そっちに直売所を作っても、やはり小松が池から三浦海岸に帰る人が多いので、あまり人が行かないだろうと。あるいはもう少し手前には民地の空き地があるから、そこをお借りするか。

桜まつりは地元の方が中心になって一生懸命あそこまでになりました。トイレを作ったりはしましたが、役所はお金を使っていないんです。桜まつり自体は地域から興したイベントで、今 20 万人程度の人が来場するというので、まさしく町おこしの典型的な良い例かもしれません。最初は懐疑的だった人たちも実際に人がどんどん来るようになって店を出すようになったり。結構三浦にはそういうケースが多いですね。

これからの企業誘致、二町谷をどうにかしなくてはいけないというのが大きな課題で、職員に活動させているところですが。

市民 大学は出来ませんか。

職員 学校は可能です。

市民 海洋大学は。

市長 海洋大学と海洋高校の中間的な施設、例えば 2 年くらいの専修学校を誘致できないかという動きをしています。

市民 専修学校ですか。

市長 いわゆる全寮制の学校のようなものを模索したいと思っています。例えば東京海洋大学の分校とか、実験所のような施設の誘致をできないのかということで、色々接触したりしています。ただ、やはりどうしても土地を買ってもらわなければいけないので、企業誘致課が民間企業で成長性のあるところなどに営業をしています。夢はあるのですが、現実問題早く売れないと借金が膨らむばかりで返せないですし、売る時の値段も問題になります。

市民 私のお客さんの中では、あそこにスーパー銭湯でも作った方がいいんじゃないか

と言う方もいます。うらりができる前に一度その計画が持ち上がったことがありますね。

市長

スーパー銭湯いいですね。

あそこは地区計画というのを作ってあります。そこには色んな施設が書いてあります。その前段になる公有水面埋立法はクリアできます。土地開発公社が埋め立てをしたので公有水面埋立法の適用も受けるのですが、市が買ってしまうのでその適用は外れるはずですが、スーパー銭湯とか色々紹介してもらいたいですね。

市民

マホロバがすごく稼働率良いじゃないですか。あれに似た宿泊施設でも人が来てお金を落とすんじゃないかな。日帰りのスーパー銭湯でもいいし。

市民

年寄りが泊まれる施設が無くて困ると良く言われます。

市民

住む施設はいっぱいありますが、年寄りの泊まれる施設がない。

市民

バリアフリー的な宿が無いですね。

市長

今度市内に建物の高さ制限を設けます。近隣では三浦市だけありませんでした。駅周辺区域、そういう所はある程度要件を緩和しなくてはいけないと思っていますが、市民の声はやはり一律で高さを制限しろというものが多いです。

市民

自分の窓から空が見えなくなるのが嫌な人間は言いますから。

市長

一概には言えないんですが、パブコメをやりましたが、290 人位来て、そのほとんどが「高さは規制すべき」というものでした。私は三崎の町と初声・南というのは区分けしようと思っています。例えば三崎で城ヶ島の大橋より高い建物ができると話題になりましたね。あのままだったら本当に建ってしまっていたかもしれない。すると景観を壊すと思います。だからそんなに高い建物はいらないと私は思っています。この高さ制限は、今年度中の都市計画決定を目指して今準備をしているので、現実味を帯びてくると思います。

三浦市は開発をする場合、今まで開発指導要綱だったのが、条例になりました。またその条例というのも非常に厳しいから、あまり開発を誘導するような条例ではありません。そうすると人口を呼び込めないとか、弊害があるかもしれない。それに対しては市街化区域を拡大しないと問題の解決にはならない。今調整区域に家は建たないので。市街化区域を拡大する動きをして、例えば駅周辺区域を都

市型の住宅地と三崎みたいに古い町並みを残す区域や自然景観を残す区域をきちんと分けして三浦市の良さを残していこうというのが、今ある都市マスタープランの姿です。都市マスタープランを読んだことはありますか。

市民 ざっくりとなら読みました。

市民 線引きの引き直しの話は結構前から聞いてはいましたが。結構現実味を帯びてきたのですか。

市長 全く現実味を帯びていません。簡単にはいきません。

市民 やはりそこに土地を持っている地権者がいるから、おいそれと変えるわけにはいかないということですか。価値が変わってしまいますから。

市長 それもあります。
今神奈川県は、県央や横浜、川崎、相模原は増えている。だけど県西部や三浦半島は減っています。三浦市の推定人口は 45,000 人です。学者が予想する人口です。それをプロパストの計画や三浦海岸のいくつかのマンション計画があつて 6,000 人位増えると見込んでいたから三浦市は総合計画を 52,000 人として作ったのです。現在それらの計画はストップしていますが、総合計画の目標人口としては 52,000 人を政策人口としていこうということになって、それを打ち出しています。今実際には約 48,300 人です。

市民 神奈川県内で 2 番目に少ないですね。

市長 市で 5 万人を切っているのは南足柄と三浦市。今寒川町が 4 万 7 千人まで増えているから逆転される可能性があります。今、南足柄より寒川の方が多いいですよ。

市民 三戸の計画というのは、もう御破算ですか。

市長 なくなっていないです。三戸小網代の土地区画整備事業は 15 年から 20 年先です。

市民 プロパストは 4~5 年先の話だったから。

市民 あそこの規模は結構大きかったですよ。ずっと奥までですからね。

市民 横に家を買った人たちは、富士山が見えなくなるし、景観悪くなるし非難ごうごうでしたね。

市長 あそこは風致がかかっているから、そもそもあまり高い建物は建たないですよ。

市民 道路側に大きなマンションが建って、あとは普通の住宅地ですよ。

市民 (三浦海岸のときに) 22 階までなら許すという話もありましたよね。一番主張する人は花火が見えるかどうかということで。

市長 三浦市は一定の高度利用は必要だと思っていました。三浦海岸の駅前の京急のマンションは計画が 38 階でした。結果的に、建築確認等を取る前に計画を降ろしてしまっただから、今度高さ制限がかかると今までの計画のように高い建物ができなくなります。あの辺は 20 メートルの制限を予定しています。だいたい 6 階くらいです。良好な街並みを作るために必要だということで、あの周辺の地区計画というものを作ってもらって、高さのある程度緩くするという手法をとろうと思っています。

市民 マホロバはかなり高いですからね。

市長 三浦市で 200 人、300 人規模の大宴会のようなものを出来る場所が無い。立食なら分かりませんが、着座ではありません。そのくらいの施設は欲しいですね。

市民 観潮荘の大宴会場は入らないかな。

市長 あそこは立席で 200 人ですね。うらりのうみぎょうプレイスと一緒にくらいです。うらりも、あそこに来るお客様にアンケートを取ると、7 割はあそこに食事ができるようにしたほうが良いというご意見です。

市民 現在集客で一番強いのはうらりですか。

市長 施設としてはうらりでしょうね。

市民 横須賀に大きい施設ができるんですよ。

市長 長井に農協の直売所ができますね。

市民 道の駅のようなものですか。

市長 道の駅ではないです。広さはどのくらいでしたっけ。

職員 6~7,000 平米位あると思います。

市長 直売所は、やる人が常に売れるモノを作らなくてはいけない。だから作る人は大変なんです。三浦で朝市やっている農家の人たちだってメインの品物も作っているけど、色んなモノを作っているんですよ。朝市は日曜日だけしかやらないけど、人をきちんと呼び込んでいるし、あの人たちもやっぱり凄いと思います。市は場所の利用に関して多少面倒をみているけど、ほとんど自前の努力ですよ。まぐろラーメンなども予算をつけられるものだったらつけても良いと思っていますんですよ。お金がないので厳しいですけど。

市民 じゃあ B1 グランプリで結果を出しましょう。

市民 今年の B1 グランプリは相当凄いようです。

市長 私も応援に行く予定です。皆さんは行かないんですか。

市民 今回は会場が 3 か所に分散するんですよ。

職員 3 か所に分散して、メインの会場とサブの会場になります。

市民 3 つ目が B 級グルメの会場なんだけど、何か違うイベントのような感じになるみたいですね。

職員 口コミフードフェスタですね。B1 ではなく、神奈川県内のものです。

市民 来る人は B1 グルメを見に来るから、いわゆる協賛ブースとかその他諸々の所はどうなるか分からないわけですよ。来るかどうか。

市民 でもやっぱり人は相当出るんじゃないですかね。

市長 人も出るだろうし、三浦としては強力な武器が行くから、かなり効果があると思

いますよ。

市民 しかしお客さんは皆さんよく並びますよね。

市民 横須賀の産業まつり、厚木のシロコロ（・ホルモン）なんか2時間も待っていたからね。

市長 この間カレーフェスティバルだったか、あれに行ったら厚木のシロコロが入口の所にあって行列でしたね。

市民 隣に富士宮の焼きそばがあったけどガラガラ。とろまんもガラガラでしたが。

市長 皆さんは会議所青年部なんだから、会議所のパワーを発揮しないと。

市民 このへんの老人ホームは建設意欲が高くて、運輸会社の横にもできますね。

市長 それ以上はできません。あと三浦市には9床しかないから。

市民 全体で何床までだというのが決まっているんですか。

市長 横須賀三浦で 200 位です。

職員 二町谷に最初に来たのはその話でした。全部まるごと 300 億で売ってくれと。補助金返してでもいいから老人ホームを作ると。無理ですと断りました。それは困りますと。

市民 実際的に、(二町谷の)しぼりがなければ「はいっ」と渡したかったですか。

職員 渡さないです。我々は不動産屋ではなく企業戦略屋なので。売ればいいというものじゃない。

市長 あそこは埋めただけではなく、10 億円かけて污水处理施設も作ってあります。魚を海水で加工できる排水パイプも道路に入っています。目的に沿ってやっているんです。それが使われないのは、税金の無駄遣いになるんです。ただ、吉田市政になって箱モノは火葬場の待合所だけですから。あれでは小さいかな。

市民 ちょっと小さいですね。もうちょっと広くてもよかったかな。

市長 スポーツ公園の管理棟もできました。

市民 管理棟の隣はガソリンスタンドを作っているんですか。

市長 桜公園にする計画があるんですよ。

市民 花見ができる。

市長 さくらまつりは河津桜だから早い時期じゃないですか。普通の桜のシーズンに花見ができるように。

市民 管理棟の中、受付とかに観光ガイドパンフレットなどを置かないんですか。

市長 置いてないですか。

市民 見ていません。

市長 それは置かないといけませんね。スポーツ公園の管理棟に観光ガイドを置くようにしないと。

市民 あと夜市の地図を見て、三崎の下町に家がこれだけしか無かったんだと思いました。これでは商売成り立たないという話を雑談でしました。観光客は回遊してくれていいんですが、通常の住んでいる人です。人口減が引橋以南に非常に多いですが、特に三崎地区、この地域に通常に住んでもらえる人を増やすためにどういう考えでいくのでしょうか。

市長 いわゆる下町地区に人口を増やすというのは難しいです。やはり昭和の町並みを残して外からのお客さんに来てもらえるような地区です。栄町や原はそんなに減っていないですよ。

市民 でも高齢化しています。

市長 高齢化はしているかもしれませんが、多少は減ってますが、下町ほどじゃありません。上宮田や初声は、ほぼ横ばい状態なので、三崎の下町で減っている分がその

まま三浦の人口減なんです。

市民 観光客で、タクシーで市内観光をしたいという話が多いです。でも、だいたい七福神コースとか、城ヶ島に行ったり、その程度で、1～2時間で終わってしまいます。その人たちは3時間4時間観光したいのに。歴史館や資料館のようなものがないんですかと聞かれます。そういう場所で1時間なり時間を潰してくれると（タクシーをやっているの）良いんですが。要するに3～4時間回って三浦市を満喫したいと言うんですが、どうしても1～2時間で終わってしまうんです。行っても整備されていなかったり、ぱっと見て終わってしまったり。歴史館や資料館で全て何とかしてくれという話ではないんですが、散策したいところ、良い所はいっぱいあるんだけど、メインとなる、基点となる、絶対にそこに行くという、夏でも冬でも見るものがあるという場所がほしいですね。三浦市をどんな所か知らないで来ている人が多いんです。いつも一見さんみたいな感じで。せっかく来たんだから回りたい、お金ならあるという感じで。でも残念ながらお金を使う場所がない。そこでもう少し資料館のような場所がほしいです。一般の市民は「そんなのあっても1回行けばいいじゃないか」と言うけど、外から来る人はそういう所があると、旅行の言い訳になるんですよね。「こういう所見てきたよ」と。少しでもいいから規模の大きいものを。せっかく歴史のある町なので。それぞれの場所に、少しずつ色々なものがあるかもしれないけど、ここに来れば三浦が分かるぞみたいな、そんな所があってもいいのかなと。

市民 私は建築の仕事をしていますが、知っている人間からすると三崎の建築は「すごいな」というものがあるんですよ。そういうところに住みたいというニーズも結構あります。でも市長は下町に人を増やそうと思うなと言いましたが。

市長 下町を増やそうと思うなということではなくて、例えば新たな開発をかけるということではない、ということ。ニーズがあれば、昭和の古い町並みが良いという人たちに対して当然ウェルカムな話です。ただ、それをツールに下町に人口を増やそうというのは難しい。だから街並みを残していこうという意味です。

市民 今、転入者に対して優遇するという制度は無いですか。

市長 いったきやりましたが、今はありません。

市民 空家対策みたいなものはないですか。

- 市民 それは不動産屋の仕事になってしまうんじゃないかな。
- 市民 どこかのまちでは、転入者の人には無料（ただ）ではないけど、格安で貸しているといいます。条件は、「ブログでちゃんと宣伝する」というものです。市外から来た人は、基本的にその市のファンじゃないですか。その人たちが住んでくれて発信してくれるというのは地元の間が語るより全然魅力的だと思うんです。そんなのが何かあったらいいなと思って。
- 市長 三浦に住んでもらいたいというのも一つですが、三浦から出ていくのを抑えるという視点が今少ないです。色んな事情があって出て行くんだらうけど、転出者や転入者に対してアンケートを取るということをやるべきだと思っています。まだ出来ていませんが。
- 市民 やはり仕事が限られちゃうじゃないですか。
- 市民 始発に乗れるから楽だという人はいるみたいだけど、始発に乗るまでの距離で疲れてしまって、やっぱり出ていこうかという人は結構いますよね。
- 市民 だから三浦海岸に引っ越す人は結構いますよ。
- 市民 三崎から三浦海岸は多いですね。
- 市民 市内で移動してもね。
- 市民 ふるさと納税ができればいいですけどね。
- 市民 でも東京などですごく稼いでいる人と話す機会があって、こっちに来ていたんだけど、不便だから出ていかないといけないかなということをお話していましたね。
- 市民 あとはやっぱり市税が高いですね。
- 市民 でも市税とか、例えば行政サービスなどを理由に出ていく人っていますかね。
- 市民 やっぱり子供の保険とかそういうもので。
- 市民 どこどこの市は何歳まで医療費が無料（ただ）とかあるじゃないですか。

- 市民 それで、比べるとすぐに横須賀になってしまうじゃないですか。
- 市長 三浦市の方が医療費は充実していますよ。やっぱり教育環境ですね。例えば私学があるとか。そういうことがやはり大きい。それは皆さんも良く言うけど。
- 職員 市長がいま言ったように、私学を呼んで特色のある学校に通わせたいというご両親の世帯所得の平均は 900 万円を超えているので、そういう人たちを市に持ってくることで市税の底上げをしようという狙いがどこもあります。要するに平均所得の高い人たちというのは、子供により高い教育を受けさせられる環境を選んで来ます。だから有名私学がほしい。
- 市長 でも横須賀も大きな企業が抜けてしまうなどの要因はあるのかもしれないけど、三浦よりも横浜、東京に近いわけですよ。だから戦略によってはもっと人口流出を食い止めたり、人口を増やしたりというのは十分可能な気がしますね。
- 市民 でも宅地造成は活発ですよ。追浜の船越の方とか。
- 市民 自分の記憶が確かだったら、7 年か 8 年位前、横須賀が景観統一化みたいなものをやって、どこかの地点から猿島に向けて見えるところの家の塗り替えのときに市が推奨する色に塗ったら補助金を出しますというのをやったと聞いたことがありますね。ものすごいアバウトだなと思ったんですが。結局同業に「あれやった」と聞いても「やってないよ」ということでしたね。
- 市民 静岡の掛川は屋根の瓦を全部統一して同じ色にしろということでしたね。
- 市民 だから下町だったら下町で昭和ベースの雰囲気改築・増築しますって時に、設計書から何から全部出してもらった上で、じゃあ何パーセントとか何万円上限に出しますみたいなことをするっていうのは空き家対策につながらないのかな。
- 市長 まちづくり条例で色の指定はありますか。
- 職員 色は無いです。風致地区内では建築物等の色を変えるときある程度色の制限もありますが、今の横須賀の話は文化会館や博物館があるあの高台のところから猿島が見えるようにするというもので、高さ制限を段階的に変えているということだったと思います。

市民 そういえば今猿島の会社がすごいらしいです。

市長 軍港巡りなどが当たっているから、今接触を持ってもらってます。

市民 一昨日だったかな。猿島 2,000 人位行っていますよ。

市長 猿島よりも軍港巡りが当たったんですね。

職員 あれは面白いですよ。

市民 行った人はみんな「本当に良かった」って言いますよね。

職員 本当に非日常で、昔の太平洋戦争の時代の面影がちょっと見えたり、普段通らないような狭いところを行ったり。

市民 特色を生かしているといえば、資源と言えますよね。

市長 今は農業体験なんかを子どもたちにさせるということをしていますよね。

市民 今は修学旅行もみんなそうですもんね。

市長 結構職員が苦労してやって、成果が出てきていますよ。

市民 横須賀でもほとんどの中学校が田植え体験とか、農業体験、民泊ですね。

市民 三浦も昔からありましたよね。農業体験。

市長 今でもやっていますよ。やっているけど、あまり人気がありません。

職員 申し込みの「率」から言えば横須賀に負けるほどではありません。横須賀は分母が大きいですから。

市長 ところで、光る泥団子はどう。

市民 あれは最初誰の案だったんだろう。浮きを入れるロープで泥団子を入れるってい

う話だったんだけど、結局泥団子が小さすぎてできなくなってしまいました。あれがあったら良かったんだけど。おかげ様で昭和館の前でやらせていただいて不便です（笑）

市長 泥団子をそこに持っていくと人が来るからでしょう。そういう風にしたいのではありませんでしょうか。

市民 どうやって場所を決めたのか、よく分かりません。
あの昭和館僕のものにしてくださいよ（笑）

市民 かまども作ったしね。

市長 あのかまどは凄いですよ。見ましたか。

市民 一度も見てないです。炊く時に呼んでくれるという話でしたが。

市民 農業体験で田植えとかやっているんだったら、あれで米を炊けばいい。

市長 夜市なんか人がたくさん来るから、昭和館に頼んで炊けるようにすればいいんじゃないか。

市民 ただボランティアの方でも高齢なので、旗振る人がいません。最初は意気込んで「常にイベントをやっているようにしたいんだ」と言っていたけど、やっぱりモチベーションが続かないですね。

市長 そんなこと言わないでくださいよ。海業公社でやっているんだから。
kirara でまたガラス工芸でも作ってくださいよ。

市民 大変でしょう。あそこも。

市民 あそこはでも、祭りのときかなり入っていたよ。

市民 でもあれをずっとやったら土日結構増えるんじゃない。

市長 なかなか厳しいんですよ。やっぱり。

市民 それでは 1 時間という短い時間でしたが、市長を始めとして市の職員の皆様と一緒にお話をできて良かったと思います。会長に謝辞と総括をお願いします。

会長 本日は市長始め市役所の皆さん、本当にありがとうございました。本当に活発な意見の交換ができたと思います。

市をどういう風に運営されて、これからどういう風に進んでいくのかということ
を私たちが知るうえでは、ものすごくためになりました。また、市役所の皆さん
と協力できて地域の活性化や人口増などで協力できることがありましたら、また
ぜひ声をかけていただいて、ぜひ一緒に三浦市をより良い、住み良いまちにして
いきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

公表については了承を得ております。